
僕と君の歩んだ道、これから歩む道

雪野美奈

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

僕と君の歩んだ道、これから歩む道

【Nコード】

N1609A

【作者名】

雪野美奈

【あらすじ】

君とともに歩んだ道は・・・消えた。これからは俺一人の道だ。でも忘れはしない。君の存在、君の唄を・・・――

プロローグ すべての記憶は君のもの（前書き）

これは死にネタです。

きつと暗くなります。

誰が死んでしまうかは・・言わないほうがいいでしょうか。

“彼”の愛している人です。

プロローグ すべての記憶は君のもの

僕はずっと君の傍にいて。

僕だけが君の笑顔を見ていられると、ずっと・・ずっとそう思っていた。

だって僕には君しかないから。

君だって、僕の傍で笑っていてくれるだろう？

君が僕のために笑ってくれるから、僕は君のために生きることができんだ。

まるで、君が僕の足のように――――・・・

君だけが僕だけの存在になってくれると・・・思ってた・・・。

思ってた・・・・のに・・・。

――――君は消えてしまった。

消え行く、散り行く桜のように――・・

その日の天気は、今の僕に不似合いなほど晴れわたっていた。

プロローグ すべての記憶は君のもの（後書き）

――あとがき――

まだまだ語りだけです・・・。

新一（以下、新） おい！なんでアイツが死んでんだ！

作者（以下、作） あ・・・いや・・・その・・・（汗

新 だいたいまだ連載2つも終わってないだろ？！

作 あ、それは理由がある！

新 ああ？！（サッカーボールを用意しながら）

作 PCが壊れて別のが投稿できないから・・・

新 だったらもっとましなもの書け！

第一話 君の歌声（前書き）

前回と同じですが、死にネタです。
二話からはこの注意書きは書きません。

第一話 君の歌声

「蘭・・・。」

何度あの愛しい人の名前を呟いただろうか。

何故消えてしまったのだろうか。

それは俺のせい・・・――

いつも心に残るのは、あの唄と・・・、憎しみ。

あの日は・・・あの日はただただ心が穢れて、あいつ等が許せなかった。

俺からアイツを奪ったあいつ等を・・・

それは今も変わらない。

3年経った今も・・・

君を想うたびその想いは募るけど、あの唄を思い出せば、少しは綺

麗になる。

アイツの歌声はいつも綺麗で、その歌声にあの切ない詩がぴったりで、いつも聞惚れていた。

「絶対・・・あいつ等に罰を与えてやるからな、蘭・・・。」

――お前はそんなこと望んでいないのだろうけど。

「まだ逝かないよ。お前との約束だもんな。ちゃんと立ち直って見せるよ。」

第一話 君の歌声（後書き）

—あとがき—

ごめんなさい。短くて・・・。

誰が死んでしまったか、もうお分かりですか？

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1609a/>

僕と君の歩んだ道、これから歩む道

2010年10月10日00時54分発行